文教厚生常任委員会資料
2026 年（令和８年）９月 24 日
こども局子育て支援室

夏季休業期間中のこどもの居場所・食支援事業について

夏季休業期間中に実施いたしました「こどもの居場所・食支援事業」の実施結果につきまして、以下のとおり報告いたします。

１　事業の概要および実施状況

（１） こども・若者サマーステーション（交流拠点等における飲料と軽食の配布）

猛暑を避けて涼しく過ごせる居場所や自習室を提供するとともに、企業と連携し飲料やパンを配布。

・開催期間：令和８年７月 22 日（水）～　８月 27 日（木）

・開催場所：ユーススペース、地域支え合いの家、ふれあいの里等　全 12 か所

（２） 夏休みこどもカレーランチ（カレーの提供等の食支援）

食支援が必要な児童扶養手当受給者等の家庭に周知し、カレーの提供と食品を配布。

・開催期間：令和８年８月４日（火）～　８月 27 日（木）の間で各施設２回実施

・開催場所：各中学校区（中学校コミセン等）に 1 か所ずつ　全 13 か所

（３） こども食堂の開催拡充（地域の居場所・食支援の強化）

夏季休業期間中のこどもたちの食事や居場所の確保を目的に、宅配等を活用しこども食堂の開催数の拡充（追加開催等）を実施。

・開催期間：令和８年７月 22 日（水）～　８月 30 日（日）の間

・開催場所：市内 50 か所のこども食堂

２　来場者数（利用実績）

事業名	対象者	実施日数 （実施回数）	延べ 来場者数	１会場平均
こども・若者 サマーステーション	地域の こども・若者等	37 日	6,612 人	14.9 人/日 （２～33 人/日）
夏休みこども カレーランチ	児童扶養手当 受給世帯等	各施設２回	1,035 人	39.8 人/回 （７～64 人/回）
こども食堂の 開催拡充	こども （主に小学生）	114 回 （うち拡充 32 回）	2,468 人 （808 人）	21.6 人/回 （25.3 人/回）

３　こどもたちや保護者及び従事ボランティアの声

（１） こども・若者サマーステーション

・すごく静かで居心地が良かった。
・涼しく勉強できるところが出来て嬉しかった。
・冷たいサイダーで水分補給ができた。パンもおいしかった。
・勉強してお腹が空いていたので嬉しい。買いに行く時間がなかったため、ありがたかった。
・普段、あまりこどもが来ない施設なので、こどもたちに当施設を知ってもらうきっかけになり良かった。

（２） 夏休みこどもカレーランチ

・こども食堂はいつも満員で申し込みできないこともあるが、カレーランチは予約不要で利用できてよかった。
・こどもがおいしいと言って食べていたので、参加してよかった。
・お土産セットをもらえて嬉しかった。
・食事を通じてコミュニケーションを取ることは、とても良いことだと感じた。
・参加人数が事前に把握できないため、調理する立場としては対応が難しかった。
・民生児童委員や社会福祉協議会にしっかりと事前周知してもらえば、事業を必要とする世帯へもっと情報が伝わるのではないか。

（３） こども食堂の開催拡充

・こんなに大勢でごはんを食べることがないので、とてもうれしかった。
・利用枠が広がったことで、今回初めて利用できた。
・いつもと違う曜日・時間で追加開催してくれたので、参加することができた。
・地域の宅配弁当を活用することで、地域全体でこどもを支えることができた。
・夏休みは参加人数が多くなるが、今回は申込者全員を受け入れることができた。

４　事業の成果

・連日の猛暑の中、こどもたちに涼しい居場所と食事を提供できた。
・居場所や食支援だけでなく、要望の多かった自習スペースのニーズに対応。特に小学生の利用が拡大した。
・施設の認知度がアップし、これまで少なかったこども・若者の施設利用者が増えた。
・提供した飲料は市内企業からの寄付を活用するなど、共創して事業を展開できた。

５　今後の課題

・開催場所が全小学校区にないため、遠方から低年齢のこどもだけで利用することが難しい。
・自習室の希望が多かったため、夏休み期間だけでなく年中開放する要望がある。
・より多くの企業やボランティアと共創し、地域でこどもを支える体制を構築する必要がある。
・次年度以降の食支援のあり方について検討していく必要がある。